



前穂から明神に向って少し歩くと三本槍の所でガレのたまった斜面をつづら折りに下り平らな鞍部に出る。ここが奥又白への下降点だが最低鞍部から徳沢側に続く沢の源頭部を下ってしまうと下又白谷に入ってしまう。コンパスがあれば、奥又へ下るA沢源頭部は東向きだが、下又白谷南東向きなのですぐ分かる。

A沢への入り口は最低鞍部の10m位手前で少し平らになった段があり、ケルンが積んである。「踏替点」などと書かれると一旦下又白に入る様に思うが、実際にはほぼそのままA沢へ行って行く様な感じである。最初A沢の右岸バンドを行くが崩壊が激しく30mも下降するとほとんど無くなっている。50mほど下って右に回り込んだところに懸垂支点がある。(ここは下又白谷との間のリッジが低くなっている所でリッジ上に踏み跡がある)懸垂でルンゼ中央に降りるが、50mダブルの方が少し安定したところに降りられる。

剣の池ノ谷ガリーを狭くした様な所で複数で下るときにははなはだ気持ちが落ち着かない。しばらく中心部を下るが、しばらくすると大きな岩が多くなりガリーも広がってくる。右岸側に踏み跡が出てきて傾斜が無くなると踏替点である。踏替点から先の中又白谷源頭部はさらに狭いルンゼだが、側壁の岩は少し安定してくる。ルンゼの入り口の右側に懸垂支点があるが、無雪期は懸垂の必要はなさそうである。しばらくガラガラと下って行くと谷が開けて中又白の草原に出る。《ここはもともと中又白谷が三本槍まで続いていたのが、A沢の崩壊が激しく途中でA沢に源頭部を略された地形である。》